

## 在宅医療ケア部会 会議録 (令和元年度 第1回)

1. 日 時 令和元年5月21日(木) 18時～20時
2. 場 所 飯塚市役所 2階202会議室
3. 出席者(順不同/敬称略)

【飯塚病院】大矢崇志、田中祥一朗、後藤裕美【嘉穂鞍手保健福祉環境事務所】大塚純子 岩井咲姫  
【飯塚市健幸スポーツ課保健センター係】瀬尾善忠、藤田奈緒【嘉麻市役所健康課】藤井みはる  
【児童発達支援センターこどもの森・多機能型児童発達支援事業所森の子】許斐孝史  
【機能強化事業ピース】毛利あすか【飯塚市】梶原あゆみ 伊佐恵  
【基幹相談支援センター】藤嶋勇治、小出悦子、彦田純子

### 4. 概 要

#### 1) 在宅医療ケア部会の年間予定・構成員について

<構成員>

- ・副部会長の変更(廣瀬氏より許斐氏へ変更)。
- ・嘉穂鞍手保健福祉環境事務所空の委員変更(小阪氏より大塚氏へ変更)。
- ・飯塚市事務局担当者の変更(渡邊氏より伊佐氏へ変更)。

<年間予定>

引き続き2ヶ月に1回の部会開催と年に1回程度の意見交換会の開催(今年度は6月15日に開催予定)。

#### 2) 研修会企画について

<今後の予定>

大きな研修会は年2回を予定。第1回は(昨年から取り組んでいる)摂食嚥下をテーマにした研修会に決定済み。8月頃を予定。第2回の内容は、6月15日の参加者アンケートの中から参加者の希望を取り入れた研修会内容とする予定。12月頃を予定。

#### 3) 連携ツール開発について

■ツール開発検討会で取り組んでいるサポートファイル(案)について完成した。ファイル中のG-①シート、Iシートについて本日内容確認。特に内容変更などの意見なし。

- A: 本人の情報
- B: 1日の流れ
- C: 医療的ケア等の状況・急変時対応方針
- D: 内服状況
- E: 成育歴・健診(児童)
- F: 総合的なアセスメント(児童)
- G-①: 緊急時連絡表
- G-②: 災害時個別避難計画書
- H: 関係機関
- I: 医療的ケアに関する指示書

■これらの完成後の活用方法について

⇒基幹センターとしてはエクセルでそのまま基幹HPに載せてダウンロードすることは可能。

⇒このサポートファイルは基本的に本人ご家族が作成するとしているが、ボリュームもあるので、で

きるだけ支援者が協力しながら作成していくイメージである。

⇒基幹HPからどなたでもダウンロードできるような体制については、載せる方向で2市1町で決済を取る予定。

⇒ツール検討部門では実際に何人かのケースにご協力いただき活用してみる。今後の内容充実の際には、「〇〇年〇月版」とHP上で更新していくと良いのではないかな。

#### 4) 災害対策について (①災害勉強会の振り返り／②災害時個別避難計画書作成の進捗)

##### ① 防災に関する勉強ふりかえり (意見交換)

- ・遠賀川が氾濫すると鬼怒川 (茨城県常総市) の氾濫以上の被害になるとの説明にショックを受けた。災害に対する意識が変わる勉強会だった。
- ・昨年の大雨の際、自分自身も危険が伴う中、支援者として現場に向かわなければならなかったが、現場での状況判断が的確に出来る様にならねばと思った。
- ・**頂いた情報**(重ねるハザードマップ／九州防災ポータルサイト／河川情報アラームメールなど) を検索し、見ていたほうが良い。

##### ②個別避難計画書作成について

- ・飯塚市のケース (呼吸器使用) で災害時対策を考えながら「災害時個別避難計画書」を完成させた。避難訓練は消極的だったが避難先として契約した短期入所事業所の見学を兼ねて避難シミュレーションしてみようと言う気持ちに変わった。プランを立ててみた感想は、「前もって備えておくと安心する」「家が一番安全だと思っていたが不安な要素が分かることで避難に前向きになる」「避難先には最低限ベッドは欲しい」「避難先で困る環境だと避難できない」といった声が聞かれた。支援者からも「実際に (通常はしたことがない) バギーの操作などを練習しておかないといざという時に困る」と避難訓練の必要性について意見が出された。今後、嘉麻市桂川町のケースでも取り組みを検討中。
- ・完成した災害時個別避難計画書については、特に内容についての意見なし。
- ・このように作成した計画書については勉強会でお話し頂いた防災課の吉田管理官に見て頂き専門的な視点から意見を頂きたい。
- ・要援護者台帳に登録しているが、本当に支援が必要な方の個別計画が作成できていない状況がある。行政の方が計画書を作成するのは大変なので、地域の支援者らが作成した計画書を行政に提出し共有させてもらってはどうか。またそういった取り組みについては吉田管理官も望ましいとの意見があった。(⇒行政としては、吉田管理官を交え今後どのようにできるか検討予定)。

#### 5) 「医療的ケアを必要とする方の地域支援に関する意見交換会 (6月15日)」企画について

当日資料 (プログラム／終了後アンケート／部会の活動報告資料) の確認

⇒研修部門からの報告は飯塚病院SWの後藤氏より行う。

⇒連携ツール開発部門からの報告は、飯塚病院小児科田中先生 (予定) より行う。

(サポートファイルは量も多いため、縮小して配布か、グループごとに配布かは要検討)。

⇒災害部門からの報告は飯塚市保健センターの藤田保健師より行う。

(災害時個別避難計画書は各自配布する)。